

平成 27 年度全国学力・学習状況調査(中学校)

国語 A

主として「知識」に関する問題

平均通過率	
市	77.2%
国	[75.8%]
県	(76.5%)

区分別定着状況

【話すこと・聞くこと】	81.1%	[79.7%]	(80.5%)
【書くこと】	77.1%	[73.6%]	(74.8%)
【読むこと】	87.2%	[86.1%]	(86.8%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	73.7%	[72.9%]	(73.4%)

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 文脈に即して漢字を正しく読む
(問9二3) 100.0% [97.2%] (97.5%)
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う
(問9三ア) 97.2% [97.6%] (97.6%)
- 文章から適切な情報を得て、考えをまとめる
(問5一) 96.5% [93.6%] (94.1%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 単語の類別について理解する
(問9四②) 26.4% [33.7%] (29.0%)
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う
(問9三オ) 42.4% [49.0%] (47.3%)
- 単語の類別について理解する
(問9四①) 54.2% [62.3%] (60.7%)

国語 B

主として「活用」に関する問題

平均通過率	
市	70.2%
国	[65.8%]
県	(67.0%)

区分別定着状況

【話すこと・聞くこと】	77.5%	[72.2%]	(73.2%)
【書くこと】	41.7%	[36.7%]	(39.0%)
【読むこと】	66.6%	[62.6%]	(63.9%)
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】	設問なし		

※ [] 内は全国平均を, () 内は県平均を表します。

正答率の高い設問(上位3問)

- 効果的な資料を作成し、活用して話す
(問1二) 90.3% [87.3%] (87.5%)
- 表現の工夫について自分の考えをもつ
(問3一) 88.9% [88.6%] (89.0%)
- 目的に応じて文章を要約する
(問2一) 87.5% [84.1%] (82.6%)

正答率の低い設問(下位3問)

- 複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く
(問2三) 26.4% [23.0%] (24.8%)
- 文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く
(問3三) 32.6% [31.1%] (33.6%)
- 資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く
(問1三) 66.0% [56.2%] (58.5%)

結果から見えること

○考察

国語A、国語Bともに全国平均を上回っており、これらの学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、国語Aに関しては、言語の知識を習得させるとともに、語句の意味を理解させ、文脈の中で適切に使わせる指導の充実を図る必要があります。

また、国語Bに関しては、複数の資料から適切な情報を得させ、自分の考えを具体的に書かせたり、根拠を明確にして自分の考えを書かせたりする指導を充実させる必要があります。